

大阪湾漁場環境速報

平成31年3月5日発行
兵庫のり研究所

大阪湾全域においてスケルトネマが確認されており、湾奥から神戸市地先、大阪府沿岸に多く発生しています。陸水等の影響が見られた調査地点や海峡部を除き、窒素は1 $\mu\text{g-at/L}$ 前後、リンは0.1 $\mu\text{g-at/L}$ 前後の低い値となっています。

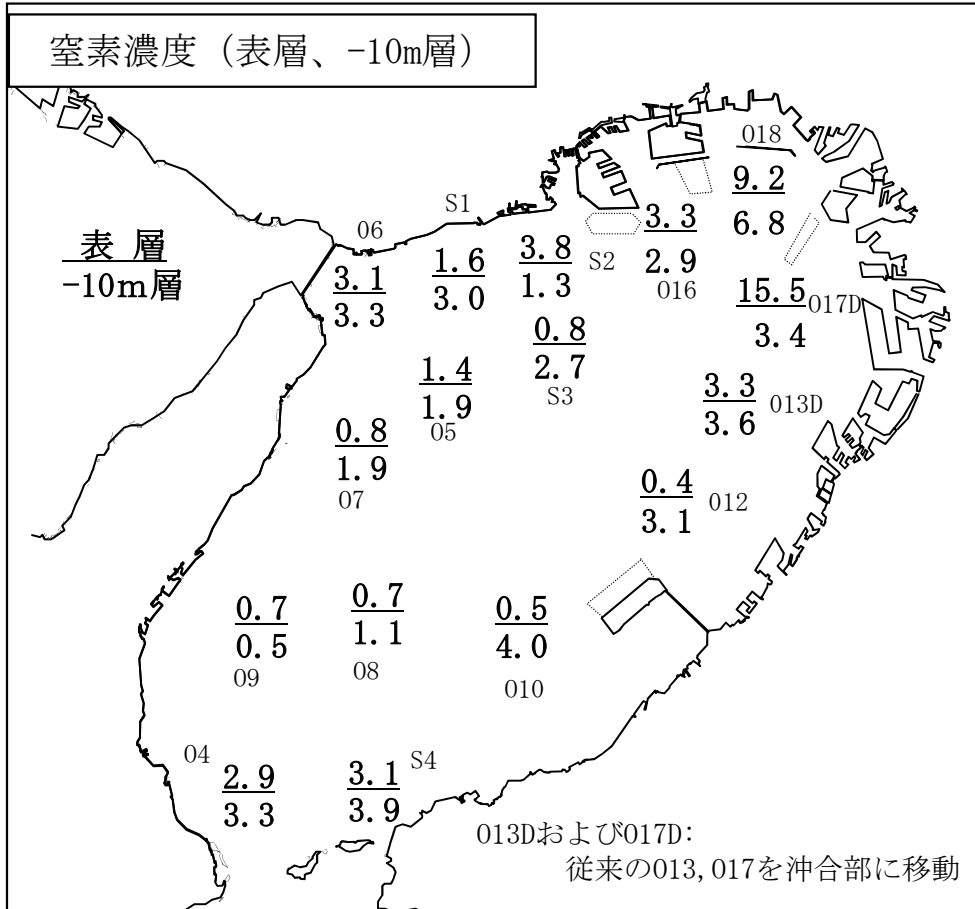
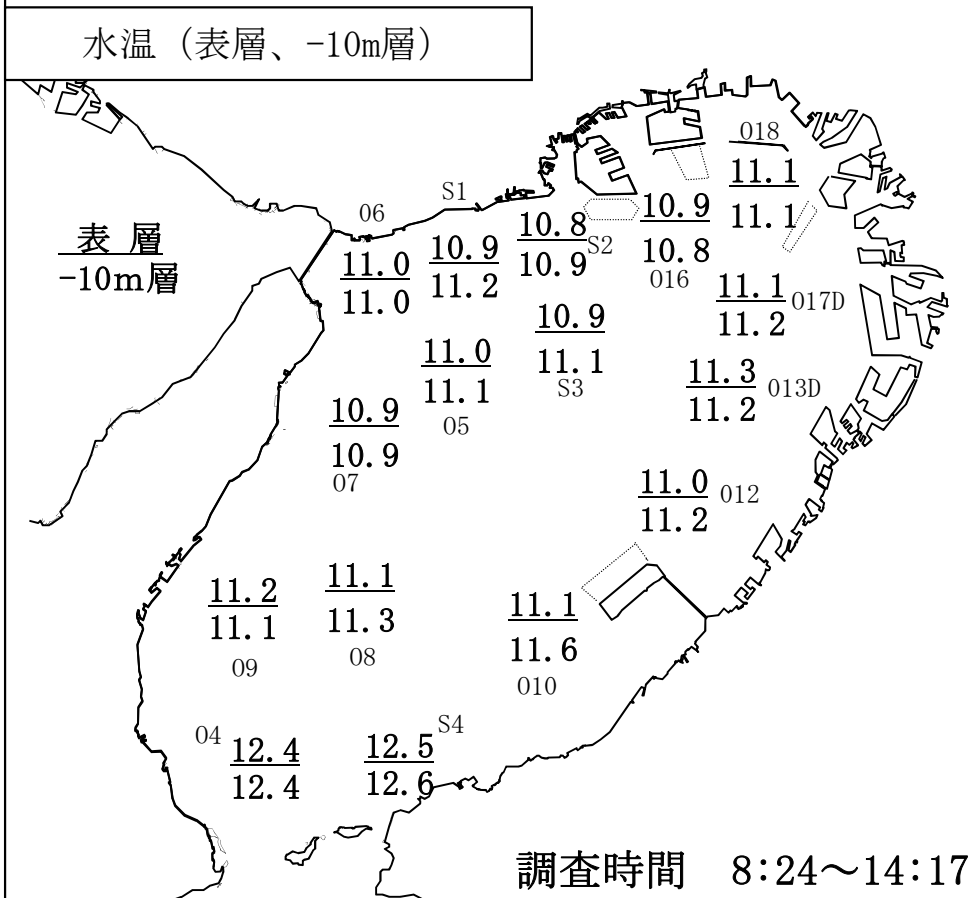
(水温) 表層は一部を除き湾内10~11℃台で、平均11.2℃ (平年比+1.3℃)。-10m層は平均11.3℃ (表層と同じく平年比+1.5℃)。

(塩分) 表層平均31.90psu(平年 31.22)。-10m層平均32.32psu(平年 31.98)。

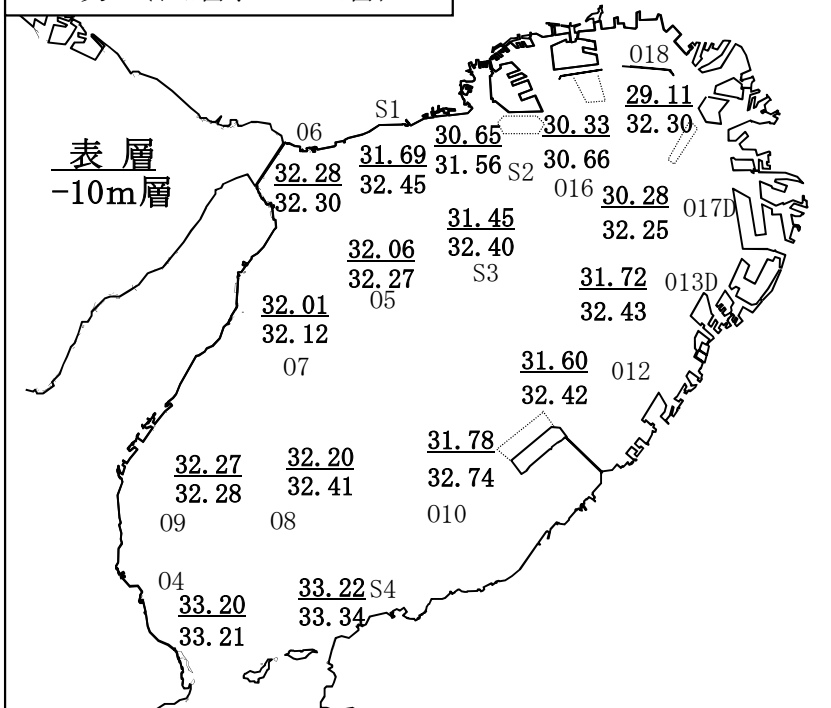
(栄養塩、他) 表層の窒素は平均1.8 $\mu\text{g-at/L}$ 、リンは平均0.13 $\mu\text{g-at/L}$ 。窒素・リンともに平年より低い。-10m層(平均)は、窒素2.5 $\mu\text{g-at/L}$ 、リン0.23 $\mu\text{g-at/L}$ 。-10m層においても窒素・リンともに平年よりやや低い値であった。湾奥を中心に神戸市地先や大阪府沿岸、また神戸沖漁場においてスケルトネマが優占種として多く発生しており、他小型のキートセロスやスケルトネマも少し見られた。窒素は、湾奥や海峡部(明石・紀淡)周辺で概ね3 $\mu\text{g-at/L}$ であったが、湾奥では特に表層で1 $\mu\text{g-at/L}$ 前後の低い状況にある。

上段 (今回値)	平成31年3月4日調査
中段 (昨年値)	平成30年3月7日調査
下段 (平年値)	3月上旬

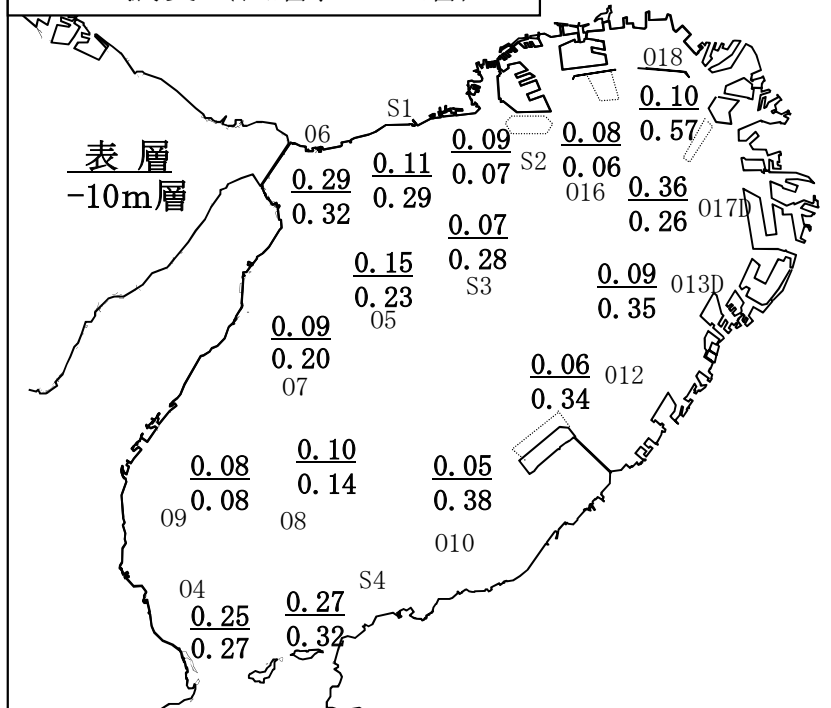
調査地点	水温 (°C)	塩分 (psu)	三態窒素 ($\mu\text{g-at/L}$)	磷酸 ($\mu\text{g-at/L}$)
04	12.4	33.20	2.9	0.25
	10.1	32.59	4.0	0.38
	10.6	32.42	3.6	0.32
05	11.0	32.06	1.4	0.15
	9.2	31.05	1.3	0.13
06	11.0	32.28	3.1	0.29
	8.6	31.86	2.5	0.32
07	10.9	32.01	0.8	0.09
	8.9	31.57	1.0	0.16
08	11.1	32.20	0.7	0.10
	9.3	31.90	0.8	0.16
09	11.2	32.27	0.7	0.08
	9.5	32.22	2.1	0.27
010	11.1	31.78	0.5	0.05
	8.7	31.51	0.6	0.09
012	11.0	31.60	0.4	0.06
	8.5	31.18	4.1	0.21
013D	11.3	31.72	3.3	0.09
	8.4	31.10	4.6	0.26
016	10.9	30.33	3.3	0.08
	8.8	29.73	2.9	0.11
017D	11.1	30.28	15.5	0.36
	8.5	28.81	14.3	0.36
018	11.1	29.11	9.2	0.10
	8.7	28.06	10.4	0.81
S1	10.9	31.69	1.6	0.11
	8.6	30.51	2.4	0.13
S2	10.8	30.65	3.8	0.09
	8.6	30.19	2.9	0.14
S3	10.9	31.45	0.8	0.07
	8.6	31.68	2.5	0.27
S4	12.5	33.22	3.1	0.27
	10.1	32.63	3.5	0.39
	10.7	32.40	3.1	0.31



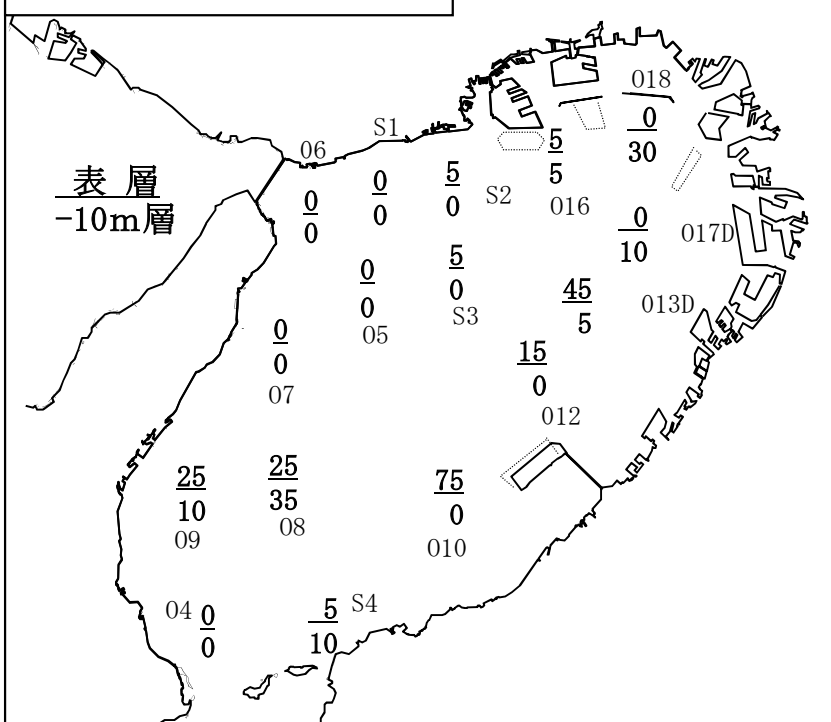
塩分 (表層、-10m層)



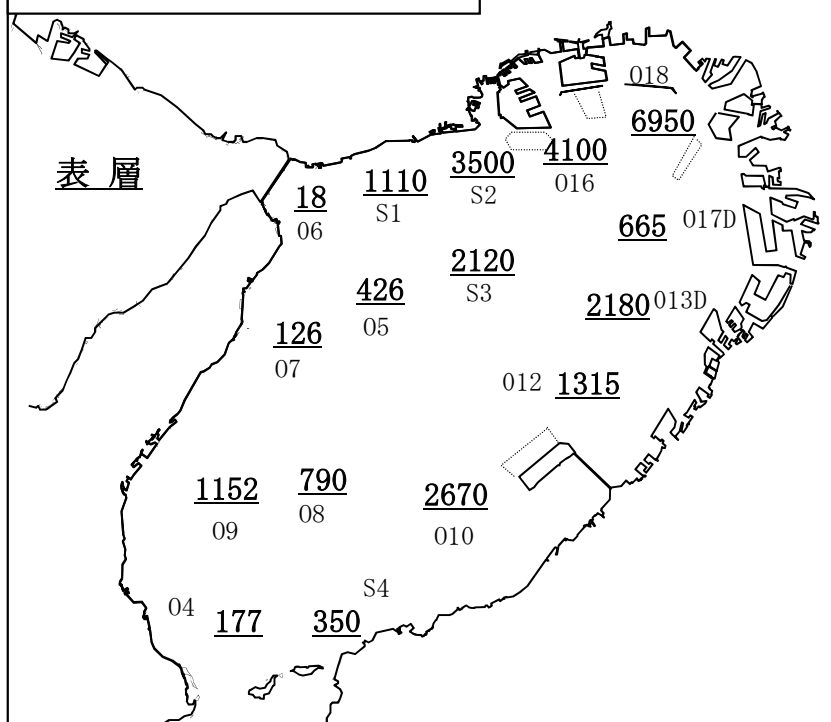
リン濃度 (表層、-10m層)



コシノディスカス (細胞/L)



スケルトネマ (細胞/ml)



ユーカンピア (細胞/ml)

